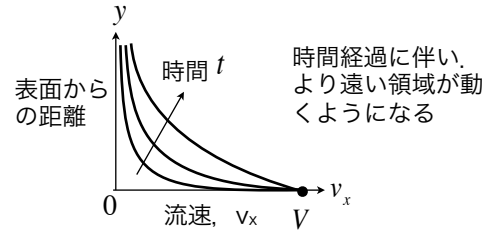
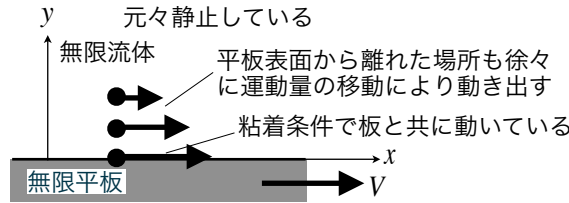


非定常問題1 (突然動き出す無限平板)

無限流体中に無限平板があり、ある瞬間に突然一定速度Vで動き出す。

この速度分布の時間変化を導出する (非定常の問題)



基礎方程式:
運動の式, 直角座標, x成分

$$\frac{\partial v_x}{\partial t} + v_x \frac{\partial v_x}{\partial x} + v_y \frac{\partial v_x}{\partial y} + v_z \frac{\partial v_x}{\partial z} = \nu \left(\frac{\partial^2 v_x}{\partial x^2} + \frac{\partial^2 v_x}{\partial y^2} + \frac{\partial^2 v_x}{\partial z^2} \right) - \frac{1}{\rho} \frac{\partial P}{\partial x} + \frac{F_x}{\rho}$$

簡単化: 流速はx成分のみ, 無限平板, 流体は平板からの粘性によってのみ駆動されており, 圧力勾配, 外力は考えない

解くべき式: $\frac{\partial v_x}{\partial t} = \nu \frac{\partial^2 v_x}{\partial y^2}$ 放物型偏微分方程式 → いかんにして常微分方程式に帰着するか

- ・ラプラス変換を用いる
- ・変数分離法
- ・変数合成法 → 境界層のプロファイル法

<ラプラス変換法>

実空間では解けない! → ラプラス変換は微分演算を代数演算に変換できる

方程式: $\frac{\partial v_x}{\partial t} = \nu \frac{\partial^2 v_x}{\partial y^2}$

初期条件: $v_x = 0$ at $t = 0$

境界条件: $v_x = V$ at $y = 0$
 $v_x = 0$ at $y = \infty$

実空間での解 $\frac{v_x}{V} = \text{erfc}\left(\frac{y}{2\sqrt{\nu t}}\right)$

ラプラス変換

方程式: $s\hat{v}_x - v_x(0,t) = \nu \frac{d^2 \hat{v}_x}{dy^2}$

初期条件: $\hat{v}_x = 0$

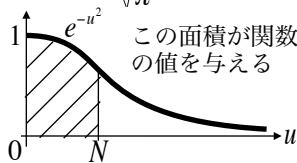
境界条件: $\hat{v}_x = V/s$ at $y = 0$
 $\hat{v}_x = 0$ at $y = \infty$

解: $\hat{v}_x = \frac{V}{s} e^{-\sqrt{s}y}$ ラプラス空間では解ける!

ラプラス逆変換

誤差関数

$$\text{erf}(N) = \frac{2}{\sqrt{\pi}} \int_0^N e^{-u^2} du$$



余誤差関数 $\text{erfc}(N) = 1 - \text{erf}(N)$

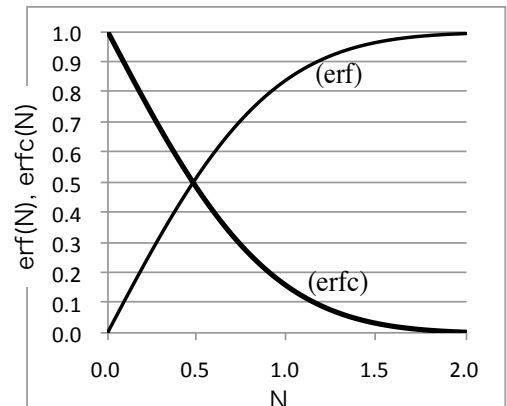
誤差関数の積分を∞までとすると「1」となるように係数を決定する

$$\text{erf}(\infty) = \frac{2}{\sqrt{\pi}} \int_0^\infty e^{-u^2} du = 1$$

$I = \int_{-\infty}^\infty e^{-u^2} du$ $I^2 = \int_0^\infty \int_0^\infty e^{-r^2} 2\pi r dr = \pi$

$I^2 = \int_{-\infty}^\infty \int_{-\infty}^\infty e^{-(u^2+v^2)} dudv$ $I = \sqrt{\pi} \rightarrow \int_0^\infty e^{-u^2} du = \frac{\sqrt{\pi}}{2}$

N	erf(N)	erfc(N)
0.0	0.000	1.000
0.1	0.112	0.888
0.2	0.223	0.777
0.3	0.329	0.671
0.4	0.428	0.572
0.5	0.520	0.480
0.6	0.604	0.396
0.7	0.678	0.322
0.8	0.742	0.258
0.9	0.797	0.203
1.0	0.843	0.157
1.1	0.880	0.120
1.2	0.910	0.090
1.3	0.934	0.066
1.4	0.952	0.048
1.5	0.966	0.034
1.6	0.976	0.024
1.7	0.984	0.016
1.8	0.989	0.011
1.9	0.993	0.007
2.0	0.995	0.005



誤差関数と余誤差関数

<変数合成法> 2つ以上の変数のある1つの組み合わせで解が表現される場合

上の解をよくみると $\frac{y}{2\sqrt{\nu t}}$ という変数の組み合わせで解が表現されていることに気づく

変数を合成して1つの変数にまとめる $\eta = \frac{y}{2\sqrt{\nu t}}$ 解は $\frac{v_x}{V} = \phi(\eta)$

変形して $-V\phi' \frac{\eta}{2t} = \nu V\phi'' \left(\frac{1}{4\nu t}\right)$ 解くべき式 $\phi'' + 2\eta\phi' = 0$

境界条件 $\phi = 1$ at $\eta = 0$ 元の方程式に代入.

初期条件 $\phi = 0$ at $\eta = \infty$

$\frac{\phi''}{\phi'} = -2\eta \rightarrow \ln \phi' = -\eta^2 + A \rightarrow \phi' = Ae^{-\eta^2}$

これを積分すると誤差関数になる (詳細は問題28 講義プリント)

問題26 熱拡散係数 α , 温度 T_0 の半無限体 A の端部がある瞬間に温度 T_s の物体 B に接触しました ($T_s > T_0$). 物体 B の熱容量, 熱拡散係数はともに非常に大きく, 物体 A 内の温度分布の経時変化が問題となります. この経時変化を非定常の一次元熱伝導方程式をラプラス変換を用いて解くことにより導出して下さい. 物体 A は初期温度は T_0 でよい.

問題27 上の問題で熱拡散係数 $\alpha = 8.4 \times 10^{-3} \text{m}^2/\text{s}$, 温度 $T_0 = 300\text{K}$, 温度 $T_s = 600\text{K}$ として 5 秒後ぐらいまでの時間経過をグラフに下さい. フォーマットはありません. (補足 7 参照)

問題28 上述の方程式を変数合成法を用いて解を求めて下さい.

